



大阪電業協会
経営委員会 中小部会
10年のあゆみ
since 2016



一般社団法人 大阪電業協会

CONTENTS

○ 部会長挨拶…………… 2

○ 10年のあゆみ(年表)…………… 3

○ 会則…………… 4

○ 2026年度からの体制…………… 6

○ 活動の報告2023-2026…………… 7

中小部会設立10周年を迎え、 これまでの歩みを振り返って

一般社団法人大阪電業協会
経営委員会 中小部会 部会長

橋本 博司



このたび中小部会は、設立10周年という大きな節目を迎えることとなりました。これまで本部会の活動を支えてくださった歴代役員の皆様、ならびに会員各位の温かいご支援とご協力に、心より厚く御礼申し上げます。

中小部会は、同じ業界で事業を営む中小企業の経営者が集い、互いに学び、支え合いながら発展していくことを目的として設立されました。

発足以来、研修や意見交換、交流の機会を通じて、会員相互の親睦と連携を深めるとともに、経営者としての視野を広げる場として歩みを重ねてまいりました。これらの積み重ねが、本部会の礎となり、今日の姿へとつながっているものと感じております。

この10年の間にも、社会情勢や業界を取り巻く環境は大きく変化してまいりました。人材確保や技術継承、経営環境の変化など、中小企業を取り巻く課題は一層多様化しております。

そのような時代にあっても、同じ立場の経営者が集い、知恵を出し合い、互いに高め合う場としての本部会の役割は、ますます重要になるものと考えております。

これからの10年に向けて、中小部会が会員の皆様にとって有意義で魅力ある組織であり続けるよう、学びと交流の機会をさらに充実させ、次の世代へとつながる活動を積み重ねてまいります。

本冊子は、これまでの歩みを振り返り、その歴史を記録として残すとともに、未来への新たな一歩を踏み出す契機となることを願い編纂いたしました。本部会の歩みが会員の皆様の記憶とともに、次の時代へと受け継がれていくことを心より願っております。

結びに、本部会の発展にご尽力いただいたすべての皆様に深く感謝申し上げますとともに、今後とも中小部会の活動に対し、変わらぬご支援とご協力を賜りますようお願い申し上げます。

2026年5月

######

会 則

第1章 総則

(名称)

第1条 この会は、大阪電業協会 経営委員会 中小部会（以下「本会」という。）と称する。

(所在地)

第2条 本会の所在地は、大阪電業協会（大阪市北区野崎町9番8号永楽ニッセイビル5階）内とする。

(目的)

第3条 本会は、これからの中小電気工事業経営を実践するにあたり、大阪電業協会が蓄積してきた知的資産やネットワークを最大限活用し、会員メリットを明確に実現させることを目的とする。

(事業)

第4条 本会は、前条の目的を達成するために次の事業を行う。

- (1) 人材育成に関する事業
- (2) 経営力強化に関する事業
- (3) 新たな成長への関係創りに関すること
- (4) その他、前条の目的を達成するために必要な事業

(会員)

第5条 本会の目的に賛同する大阪電業協会中小会員企業は、第14条の手続きを経て、会員となることができる。

第2章 役員

(役員)

第6条 本会に次の役員を置く。

- 部会長 1名、副部会長 複数名、会計 1名
また、必要に応じ、部会長代行、部会長補佐、顧問を置くことがある。
- 2 前項の役員は、総会において、会員の中から選任する。

(役員の職務)

第7条 部会長は、本会を代表し、会務を総括する。

- 2 部会長代行及び副部会長は、部会長を補佐し、部会長に事故があるときの職務を代理する。
- 3 会計は、本会の会計および資産の状況を監査する。
- 4 部会長補佐、顧問は、本会の業務遂行に関して、部会長の諮問に応える。

(役員の任期)

第8条 役員の任期は1年とする。ただし、再任はさまたげない。

- 2 補欠により選出された役員の任期は、前任者の残任期間とする。

第3章 総会

(総会の種別)

第9条 総会は、定期総会及び臨時総会とする。

- 2 定期総会は、毎年5月に開催する。
- 3 臨時総会は、部会長が必要と認めるとき、もしくは全会員の3分の2以上から会議の目的たる事項を示して請求があったときに招集することができる。

(総会の招集)

第10条 総会は、部会長が招集する。

- 2 総会を招集するときは、会員に対し、会議の目的及びその内容並びに日時及び場所を示して、開会の30日前までに通知しなければならない。

(総会の審議)

第11条 総会は部会長が議長となり、次の事項について審議する。総会の開催は会員の過半数の出席を必要とし、決議は出席者の過半数の賛成によって決定する。可否同数のときは、議長の決するところによる。

- (1) 事業計画及び予算・事業報告
- (2) 年度事業報告及び決算の承認
- (3) 役員の選任
- (4) 会則改正
- (5) その他必要な事項

第4章 運営委員会

(運営委員会の構成)

第12条 本会の中に、運営委員会を置く。

- 2 運営委員会は、第6条で定める役員並びに、会員の互選で選出された運営委員をもって構成する。

(運営委員会の招集)

第13条 運営委員会は、年6回開催を目途として、部会長が招集する。

(運営委員会の審議事項)

第14条 運営委員会は、部会長が指名する議長のもと、次に掲げる事項を審議し、議決する。

- (1) 総会に付すべき事項
- (2) 総会において議決された事項の執行に関する事項
- (3) 会員の入会及び退会
- (4) 会計監査人の選任及び解任
- (5) その他、総会の議決を要しない会務の執行に関する事項

第5章 会計

(経費)

第15条 本会に必要な経費は、会費、大阪電業協会助成金、その他の収入をもってこれにあてる。

(会費)

第16条 会員は、年額10,000円を会費として、本会が指定する方法により納入する。

(事業年度、会計年度)

第17条 本会の事業並びに会計年度は、毎年4月1日から始まり、3月31日までとする。

(会計報告)

第18条 毎事業年度終了後、部会長が収支計算書を作成し、会計監査を受けたうえで、総会の承認を得る。

(委任)

第19条 この会則に定めのない事項は、総会の議決を経て、部会長が別に定める。

(附則)

この会則は、2024年4月1日から施行する。

2026年度からの体制

2026 (令和8) 年度からの組織

2026年4月1日現在

役 職	氏 名	所 属 企 業 名	役 職
部 会 長	橋 本 博 司	旭電設株式会社	代表取締役
部会長代行・会計	堀 田 吉 範	宏電工テック株式会社	代表取締役
部 会 長 補 佐	坂 本 恵 一	近畿設備株式会社	代表取締役
副 部 会 長	丸 谷 良 美	マルヤ電気株式会社	代表取締役
	盛 永 正 直	株式会社盛永電気工業所	代表取締役
	原 智 哉	株式会社昭光電業社	代表取締役
	西 尾 崇	株式会社西尾電設	代表取締役
	辻 本 洋 克	辻本総合設備株式会社	代表取締役
	大 畑 篤 志	日興電気工業株式会社	代表取締役
	渡 部 憲 一	株式会社ワタベ	代表取締役
運 営 委 員	伊 藤 禎 宏	小松電気工業株式会社	代表取締役
	濱 田 厚 男	浜田電気工業株式会社	代表取締役
	安 藤 一 彦	藤井電気工事株式会社	代表取締役
	笹 野 泰 浩	笹野電機株式会社	代表取締役
	泉 谷 仁 博	泉谷電気工事株式会社	代表取締役
	生 田 真 己	雄健建設株式会社	取締役 電気事業部 統括本部長
	鎌 田 喜 充	株式会社東陽電気商会	代表取締役
	富 田 尚 典	富田電機株式会社	代表取締役
	菅 宏 樹	昭和電機株式会社	代表取締役
	鶴 田 浩 也	鶴田電設株式会社	代表取締役
	林 靖 貴	株式会社大気電機工業所	代表取締役
	石 津 正 仁	株式会社石津電気	代表取締役
	坂 本 雅 之	株式会社大阪電業社	代表取締役
	中 山 武 圭	大阪電気機工株式会社	代表取締役
	廣 田 剛 正	京阪電気興業株式会社	代表取締役
	向 井 伸 幸	阪神ユニテック株式会社	代表取締役
	北 詰 雅 亮	朝陽電気株式会社	代表取締役
	竹 内 康 彦	双葉電気株式会社	代表取締役
	木 村 展 久	大和計装株式会社	代表取締役
	吉 川 雅 也	共栄電業株式会社	常務取締役
	高 須 浩 一	株式会社大洋電機製作所	大阪営業所 所長

中小部会のホームページは、こちらからご覧ください。

「会則」「組織（運営委員一覧）」「主な活動履歴」等、
様々な情報を掲載しています。



活動の報告2023-2026

会報No.179 (2025.9) 掲載

中小部会 2025 (令和7) 年度からの中期3年事業計画

《事業の三本柱》

人材育成事業

経営力強化事業

新たな成長への関係創り

事業 種別	事業テーマ	中期目標 (2025年度～2027年度)	
		中小会員が受けるメリット	中期ゴール詳細
① 人材 育成 事業	1. 1級電気工事施工管理 技士取得講習会	高い合格率	中小会員企業全体から受講者を募り、 創意工夫を重ね、高い合格率の維持を 図る
		安い受講料	受講料は、他団体の講習会よりも安価 に設定する
	2. 中小部会独自の 安全教育	一般的な安全教育ではなく、各部門の 業務内容に特化した教育を実施できる	安全意識の定着と向上 (定期的な安全 教育の実施)
		具体的なリスクや過去の事故例をもと に、実践的な安全対策を学べる	現場に即した安全ルールの策定・改善 (事故発生時の役割分担の明確化)
	3. 退職者を減らす退職者 防止策	担い手不足の中、人材の流出は企業に とって命取りとなる。この活動によっ て、少しでも離職者を防ぐことができ れば、最大のメリットとなる	正確な「退職理由」を入手する仕組みが 重要であり、その研究、構築を最優先に 取組む
			中小部会参加企業による「退職防止策 の事例紹介」を継続実施し、好事例を水 平展開する
② 経営 力 強化 事業	4. 社内業務の効率化	属人的になりがちな業務を減らす施策 として利用する	職種を超えた知識を習得することによ って、多能工的社員を育成する
		自社業務IT化による効率化確認が 進む	事例紹介を通じて、IT化に取り組む 動機や、各社の事情により介在する ハードルや課題、そしてこれら課題の 克服手法を学び、自社の業務効率化推 進に役立てる
③ 新 た な 成 長 へ の 関 係 創 り	5. 中小会員企業・ 部課長クラス 企業間の情報交換	部課長クラスが自社以外の状況を知り 学ぶ機会を持ち、自社を客観的にとら え修正すべき自社弱点を見出す絶好の 機会	部課長クラスメンバー主体で意見交換 ができ、自社の発展繁栄に寄与する

全国平均を上回る高い合格率を維持！

2016年の中小部会発足の際、参加企業から最も強く要望を受けたのが「1級電気工事施工管理技士資格取得集中講習」の実現でした。

事業計画策定と同時に執行責任者を決め、事前の綿密な打合せを繰り返し、2018年度から講習を開始しました。

初年度は、受講者15名中、学科試験は15名全員が合格、実地試験は13名が合格という想定以上の成果をあげることができました。

初回の好成績に甘んじることなく、講習内容の改善を積み重ね、今日では部会の看板事業としての地位を確立することができたのではないかと思います。

これまでの受講者の頑張りに敬意を表するとともに、講習実施に関係いただいた全ての方に感謝申し上げます。

1. 実施方針

小人数制の講習とし、二次検定対策では、複数名による添削指導を行うなどきめ細やかな講習を行い、一次・二次ともに高い合格率を目指す。

2. 講習のポイント

- 受講者の実力を測るため、事前テストを行い、弱点を補強
- 講師が過去問題の分析を行い、ポイントを絞った講義を実施
- 二次検定（記述問題）対策として、添削講師を複数名用意し、きめの細かい指導を実施



3. 講習実績

受講者数と合格者数の推移表を掲載

4. 今後の課題

制度改正（一次検定合格者は、何度でも二次検定にチャレンジできる）に伴う、二次検定対策講習受講者増への対応

●2024年度講習概要

(1) 日程・受講者

- 一次検定対策 6月15日（土）～
毎週土曜日 計4回 12名
二次検定対策 9月28日（土）～
毎週土曜日 計3回

(2) 会 場 大阪電業協会 会議室

(3) 受講料 一次・二次検定対策講習 各3万円

(4) 講 師 橋本 力 氏（住友電設㈱）

1 級電気工事施工管理技術検定試験結果

		学科			実地		
		受検者数	合格者数	合格率	受検者数	合格者数	合格率
2018年度	中小部会主催	15	15	100.0%	15	13	86.7%
	全 国	16,989	9,532	56.1%	12,034	8,875	73.7%
2019年度	中小部会主催	14	10	71.4%	12	8	66.7%
	全 国	15,048	6,128	40.7%	8,114	5,382	66.3%
2020年度	中小部会主催	15	10	66.7%	10	7	70.0%
	全 国	14,407	5,493	38.1%	6,723	4,887	72.7%
		一次			二次		
2021年度	中小部会主催	12	12	100.0%	17	7	41.2%
	全 国	15,001	7,993	53.3%	7,922	4,655	58.8%
2022年度	中小部会主催	18	8	44.4%	13	11	84.6%
	全 国	16,883	6,458	38.3%	7,685	4,537	59.0%
2023年度	中小部会主催	16	12	75.0%	18	13	72.2%
	全 国	16,265	6,606	40.6%	8,535	4,527	53.0%



橋本部長 開講挨拶

【橋本部長 開講挨拶】

本日から計4回に渡り、一次検定対策講習を開催します。この講習は、皆さまが施工管理技士の資格を取得し、更なるスキルアップを図るための貴重な機会となります。

1級は試験範囲が幅広く、勉強するのも大変だと思いますが、先生の講義を集中してお聞きいただき、理解するよう努めてください。

また、お忙しいとは思いますが、自宅での予習・復習を繰り返すことが、合格への近道だと思います。

既に、皆さんの会社の社長からお聞きかもしれませんが、本講習の合格率は、全国平均をかなり上回っております。皆さんにプレッシャーを与えるつもりはありませんが、是非頑張ってくださいと思います。

皆さんが合格し、喜んでいる姿を拝見できることを楽しみにしております。本講習の成果が出来ますよう心からお祈り申し上げ、開講の挨拶とさせていただきます。

【執行責任者所感】

中小電気工事会社にとって、1級電気工事施工管理技士資格取得者は、技術者として大変貴重な戦力です。

部会内の事前打合せでは「200～300人規模で開催される対策講習を受講させても、なかなか合格しない」との意見が大半でした。そこで「少人数で緊張感のある講習会を」とのコンセプトを打ち立て、準備に取りかかりました。

講師の人選には苦勞しました。無理を承知でお引き受けいただきました先生方には、感謝の言葉しかありません。

一次講習の最終日（4回目）には、午前中に予想問題の模擬試験を行い、午後から順番に1問ずつ回答。集中力と緊迫感がひしひしと伝わってきます。

二次講習では、4名の講師にお越しいただき、グループに分かれて、事前に回答した施工体験記述問題を添削指導。受講者間でも意見交換があり、白熱した雰囲気伝わってきます。一次、二次とも充実した講習ができていると実感しています。

先生から「会社に言われたから受検するのではなく、自らの意思で合格を目指す人の集まりだからこそ、高い合格率が維持できているのだと思う」とおっしゃっていただきました。

「私の時代にこのような講習があれば、必ず参加したのに」とうらやましく感じています。中小部会メンバー他、関係いただきました全ての方々に感謝申し上げます。

今後とも、中小部会人材育成事業の柱としてブラッシュアップを図り、継続して取組んでいきたいと思っています。



一次検定対策講習（初日）

「いざという時、どうすべきか」を学ぶ

中小部会では、2022年度からの3カ年事業計画「人材育成事業」の取組みのひとつとして「中小部会独自の安全教育」を事業テーマにかかげており、その一環として今年度も「リスク発生時の対応」研修を開催しました。

この研修は、事業計画を立てて継続的に実施しており、今回で4回目となります。

毎回、参加者が増えており、一度研修を受けられた会社でも、他の社員を研修に参加させるなど、非常に好評をいただいております。

今回も参加者が多数となったため、あいおいニッセイ同和損保様のご厚意により、同社フェニックスタワー会議室を借用しての開催となりました。

研修開催に先立ち、橋本部会長が挨拶を行い、本研修の主旨や有効性等について述べた後、研修が始まりました。



橋本部会長
主催者挨拶

■日 時	2024年8月21日（水） 13:30～16:10
■場 所	あいおいニッセイ同和損保フェニックスタワー 21階会議室
■参加者	38名
■テーマ	「工事に起因する工事賠償責任と対応する 工事賠償責任保険」 ～知らないで損、工事賠償責任と保険の常識～
■内 容	13:30～13:35 主催者挨拶（橋本部会長） 13:35～14:10 第1部（土井専務理事） 14:10～15:00 第2部（あいおいニッセイ 同和損保様） 15:10～15:50 第3部（土井専務理事） 15:50～16:10 第4部（株中央保険センター）

第3部 事故が起きたら、まずどうしたらいい？

実際に事故が起きた時、我々はまず何をすべきか、どのように対応していくべきかについて、リスク発生時の対応教本をもとに、土井専務理事から実体験を踏まえた講話がありました。

実際に事故が起きた時、相手方、ご家族、客先等によって対応には違いがあり、保険で対応できる部分とできない部分があります。

事故が起こってから気づくことについて、実体験等をもとに説明いただくことにより、各受講者は非常にわかりやすく理解できたのではないかと感じております。

第1部 「そもそも保険って何だ」

「工事に起因する工事賠償責任に関する法令と工事に必要な保険とは」と題して、土井専務理事から説明がありました。各社が契約している保険の種類や内容等を細かく説明していただき、保険についての見識を深めるよい時間になりました。



第1部講師 土井専務理事

第2部 工事賠償責任保険、生産物賠償責任保険の基礎知識

あいおいニッセイ同和損保様の児嶋様から、保険の特約条項やそれで担保できる範囲等について、詳しく説明をいただきました。

工事賠償責任と生産物賠償責任の違い等についても説明いただき、自社の保険がどの部分を担保できているのかを見直すきっかけになればと思いました。



第2部講師 児嶋様（あいおいニッセイ同和損保様）

第4部 JECA電気設備工事総合補償制度の説明

（株）中央保険センターの街（ちまた）様から、JECA（日本電設工業協会）の団体メリットを活かした廉価な保険について説明がありました。

JECA会員企業に向けた第三者賠償制度の説明があり、自社の保険との比較等でメリットを感じられましたら、加入を検討していただければと思います。

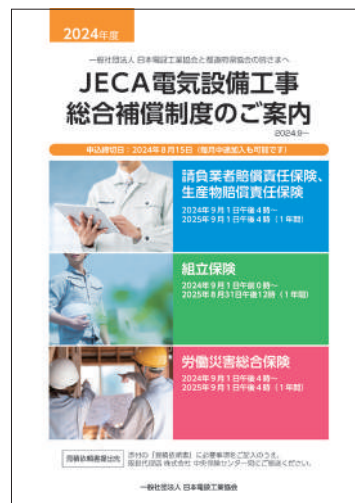
研修終了後、保険の見直しを検討されている会社向けの相談会を実施したところ、数社が自社の保険内容について相談されていました。

工事に係る保険を対象とした研修は珍しく、研修に使用したテキストも非常に好評をいただき、時間が足りないほどに感じました。

まだ参加されていない中小会員企業におかれましては、是非次回研修に参加ください。

本研修実施にあたり、あいおいニッセイ同和損害保険（株）、（株）中央保険センターから講師を派遣いただき、非常によい内容となりました。深くお礼申し上げます。

（廣田 記）



2名の方に受講の感想をお聞きしました

※年齢、勤続年数は
受講当時



旭電設株式会社 鬼頭 孝幸さん (37歳)

《勤続年数》18年4カ月 《職種》事務職 《現在の主な仕事》設計、総務事務

★「2024年度リスク発生時の対応 (工事賠償責任編)」研修を受講して★

本講習については、工事賠償責任保険、生産物賠償責任保険の基礎から説明していただき、とても勉強になるものでありました。また、実際のさまざまな事故例をもとに保険の担保できる範囲や特約条項なども説明いただき、非常にわかりやすい内容でありました。

研修後の保険相談会では、現在の加入している組立保険とJEC A電気設備工事総合保障制度組立保険との比較検討をしていただき、補償内容・料金等を見直す機会になりました。

請負賠償事故が発生した場合の対応についても説明がありましたが、以前の「労働災害等リスク発生時の対応」研修受講後、幸いにも労働災害が発生しなかったこともあり、内容を再確認することができました。

リスク発生時の対応教本を何度も見直し、その内容を管理者・現場担当者たちと共有し、各種チェックシートの整備を行い、有事の際には落ち着いて正しい対応ができる体制を整えなければならないと改めて思いました。

今回は研修を受講させていただき、誠にありがとうございました。

★今後の抱負★

労働災害を発生させないように、全力を尽くさなければならないと改めて決意しました。まずは請負賠償事故が発生した時の対応のフローの見直しを何度も行うこと、その内容を管理者・現場担当者たちと共有し、各種チェックシートの整備をすることを実行したいと思います。



辻本総合設備株式会社 辻本 将広さん (41歳)

《勤続年数》7年9カ月 《職種》技術職 《現在の主な仕事》施工管理

★「2024年度リスク発生時の対応 (工事賠償責任編)」研修を受講して★

今回の研修を受講して、工事賠償責任や請負賠償責任保険・生産物賠償責任保険・組立保険について、知らないことがたくさんあることに気づきました。

賠償責任は定義や成立条件により異なることや、工事中か工事終了後かで適応する保険が異なること、補償対象となる工事や補償特約についても細かく知ることができました。

また、事故が発生した時の対応についても、事故が発生してから動きの流れを知ること、万が一事故

が起きた時の対応の速度が変わってくるので、話を聞けてとてもよかったです。

今回の研修には、たくさんの学びがありました。企画していただき、ありがとうございました。

★今後の抱負★

事故がないのが一番ですが、もし事故が起きた時に少しでも本日学んだことを活かしていけたらと思います。一度自社の工事保険を確認して、万が一事故が起きた時にすぐに対応ができるようにしていこうと思います。



8月21日 研修会場全景



11月28日 研修会場全景

今回のリスク発生時の対応研修は、兵庫県電業協会との共催により、兵庫県中央労働センターにおいて開催しました。

主催者挨拶として、兵庫県電業協会 塚本副会長から、今回の開催経緯や重要性について述べられ、研修が始まりました。

第1部は、兵庫県電業協会 藤井経営委員長から、兵庫県内の死亡労働災害の発生状況等について事例を交えながら説明があり、今一度労働災害のない職場環境をつくっていきましようとする受講者に訴えられました。



兵庫県電業協会
塚本副会長



兵庫県電業協会
藤井委員長

■日 時	2024年11月28日（木） 13:30～15:30
■場 所	兵庫県中央労働センター 小ホール
■参加者	大阪電業協会 6社 8名、兵庫県電業協会48名
■内 容	13:30～13:35 主催者挨拶 (兵庫県電業協会 塚本副会長) 13:35～13:50 第1部 (兵庫県電業協会 藤井経営委員長) 13:50～15:20 第2部 (大阪電業協会 土井専務理事) 15:20～15:30 質疑応答 15:30 閉会

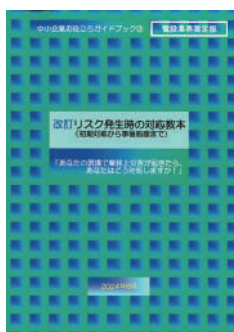
第2部は、大阪電業協会 土井専務理事から「リスク発生時の対応教本」（労働災害編）に基づき研修を行いました。

今回で、5回目（労働災害編としては4回目）の研修となりますが、対応教本が改訂してからは初めての研修でした。

事故が起こった時の担当者の役割や労働基準監督署、警察、遺族への対応方法が、流れに沿って大変わかりやすく記載されているテキストになります。

【労働災害編1】

リスク発生時の対応（初期対応から事後の処理まで） 「あなたの現場で業務上災害が起きたら、あなたはどう対処しますか？」

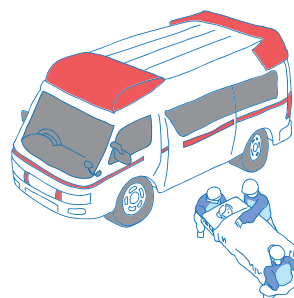


まず初めに、業務上死亡災害の事例を取り上げ「重篤災害発生時の初動対応フロー」や、救急車の要請手順、救急車を呼ぶメリット・留意点などの説明がありました。

第1通報者からの連絡時確認項目チェック表については、自社に合った項目で作成しておくことの必要性や、社長から各役割担当者

への指示の出し方など、具体例を交えた説明がありました。

また、搬送先病院に被災者家族が到着する前と到着後の留意点として、家族とのコミュニケーションが特に重要であるとの説明がありました。



【労働災害編2】

災害発生2日目以降「重篤災害発生2日目～示談交渉までの対応」

労働基準監督署への対応では、労働災害における監督署の捜査の流れや主な報告書類について、また、提出要求権、虚偽の報告をした場合は処罰対象になることや、悪質程度によっては労災隠しと判断されるという説明がありました。

警察署への対応では、事情聴取を受けるときの留意点や表敬訪問について、また、書類送検～処罰決定までの流れについて説明がありました。

遺族対応では、通夜弔問時や初七日弔問についての留意点や、遺族損害賠償交渉について賠償額の算定方法、示談書作成時のポイントなどについて説明がありました。

研修では、参加者全員が真剣に聞いてくださり、誠にありがとうございました。重篤災害等は起こしてはならないのですが、万が一の事があれば、この研修やテキストを思い出し、参考にしていただけましたら幸いです。

「こんな時、どうする？」研修は、今後も中小部会の事業計画として継続的に開催する予定にしております。まだ受講されていない方は、是非受講ください。

最後に、兵庫県電業協会様には、会員企業から数多くの方が受講していただき、誠にありがとうございました。貴



第2部講師 土井専務理事（大阪電業協会）

協会における安全活動に生かしていただけたら幸いです。

今後とも協会間の連携、情報共有を大切にしていきたいと思いますので、引き続きのご指導をよろしくお願いいたします。（橋本 記）

退職防止あの手この手(1)

大事なのは社員ファーストの会社作りか！

中小部会では、若手退職者を防止するために数年前から中小会員企業に対して「退職者の退職理由」や「各社の退職者防止策実践事例」に関するアンケートを実施し、若手退職者を減らすための施策を調査・研究しています。今回は、退職理由のアンケートで判明した退職三大理由（「**休暇**」「**給与**」「**コミュニケーション**」）において、今まで情報をいただいた「退職防止実践事例」の中から、特に効果的で若者の定着が実感できると回答された中小企業ならではの実践事例の一部をご紹介します。



近畿設備㈱
代表取締役 坂本 恵一

「休暇」に関する実践事例

管理職が社員の勤怠情報（出勤、代休、有休、超勤等）を管理できる仕組みがあるか否か！
また、従業員が休暇を取りやすい制度や社風になっているか…

- 事例**
- ① 休日出勤した場合の代休取得状況の見える化、代休未取得者に対する取得奨励
 - ② 有休5日取得奨励日の設定（年末年始・GW・夏休の大型連休化、誕生日、結婚記念日等）および社員全員の取得予定日の見える化
 - ③ 有休を時間単位に取得できる制度の確立
 - ④ 試用期間中（入社～6か月～1年）は土日祝の完全休暇および早出・残業なし



「給与」に関する実践事例

従業員にわかりやすく、自分の将来が想像できる賃金制度になっているか…

- 事例**
- ① 基本給や昇給に関するテーブルを作成し、不公平がないようにしている。
 - ② 決算月には会社の業績により決算賞与を支給している。
 - ③ 定期昇給を実施している。
 - ④ 人事考課の結果の見える化した給与制度にしている。
 - ⑤ 事故トラブル時の緊急出勤時には特別手当（時間給）を支給している。



「コミュニケーション」に関する実践事例

若い従業員の意見や考え方を聴く耳を持っているか…

- 事例**
- ① **社員各々が全員の評価を行う制度（360度評価）**
通常、上司が部下を評価して昇給や昇進に反映させるものを、全員が全員を評価し、社員間の通しをよくする制度
 - ② **新入社員が自分の将来像を自分で想像する制度**
通常、上司が説明する部下のキャリアプランを新入社員自身に考えさせ、毎年プラン通りに成長しているか、上司による確認と助言を行う。
 - ③ **社員主導の慰安旅行を年2回実施（会社負担）**
社員自らの意思で全員参加の慰安旅行を計画し、全費用を会社負担で実施する。
 - ④ **体系的な教育制度と定期的な面談**
専属の教育係が体系的な教育を実施し、チェックリストによる定期的な確認とフォローを行い、技術習得内容の見える化と将来に向けての不足部分の指導・助言を行う。
 - ⑤ **サンクスカード制度**
社員に毎月2枚のサンクスカードを配付し、仕事中に感じた感謝の気持ちをカードに記入して送り合う制度
《目的》・社内コミュニケーションの活性化
・社員のモチベーション向上
・褒めあう文化の定着
 - ⑥ **若竹会の開催**
若手社員だけで会社に対する意見・要望を言い合い、その声を議事録として部長、社長まで届ける制度
 - ⑦ **社内報発行による情報共有**
年始に社内報を発行し、全社員の思い（昨年の反省、今年の抱負、マイブーム）を掲載することにより、社員間の横のつながりを深化



社員を定着させるコツは、社員が安心して働ける「働く人のための会社」作りだとおっしゃる経営者の方がおられました。そのために「あの手この手」で地道に色々と工夫され、結果として現社員数を維持できているということでした。

今回は、少しの実践事例しかご紹介できませんでした。中小部会ではこれからも「退職者を一人でも減らす活動」を継続し、中小会員企業の皆さまと情報共有できるようにいたします。次回は成功事例だけでなく、失敗事例も交えてご紹介できればと思っています。



退職防止小委員会で真剣に議論するメンバーの皆さん

退職防止あの手この手(2)

中小部会では、2023年9月の会合において、旭電設(株) 橋本社長(中小部会長)から、自社の退職防止策に関する事例紹介を行い、参加企業(社長)から大きな反響がありました。

そこで、大阪電業協会の全ての中小会員企業様にもご覧いただきたいと考え、同社取組みの一端をご紹介します。



旭電設株式会社
橋本社長

旭電設(株)の退職防止策(抜粋)

社内制度の改善

①資格取得のバックアップ

会社認定資格の取得に対して、合格祝金と資格手当(毎月)を支給



②表彰制度

1年間頑張った社員を安全大会等で表彰(金一封あり)



③帰省旅費の支給

独身者には、年2回まで、実家まで帰省する往復の旅費を支給



職場環境の改善(脱アナログ)

①スケジュールの共有



社員全員のスケジュールを見える化

②ドキュメントの共有

社内規程、マニュアル、有資格者一覧等を一元管理。いつでも閲覧可



③ワークフローの電子化

申請関係を電子化し、省力化と承認期間の短縮を実現



④電子回覧

全員に一齐回覧(確認機能付き)。確認が遅れている社員には、仲間から声かけ



コミュニケーションの活性化

①1on1ミーティング

年2回、社長との個人面談を実施し、社員が感じている課題や悩みを把握



②メンター制度

年齢の近い先輩社員が新入社員をサポートし、相談しやすい環境を提供



③若手社員との懇親会

社長と若手社員(30歳未満限定)との懇親会を年4回開催(職場では分からなかった一面を発見!)

新年会
忘年会
歓迎会
若手会
(30歳未満)

慰安旅行(年1回)
行き先は
社員の投票で
決まります。



若手社員に聞いてみた

旭電設のいいところ

- ◎年間の休日数が多い(122日)
- ◎休暇が取りやすい(有給休暇取得率 64.7%)
- ◎若手社員が活躍できる(平均年齢 39.3歳)
- ◎会社にも社員にも清潔感がある
- ◎社員を大切に扱ってくれる
- ◎上司・先輩が優しい
- ◎慰安旅行が楽しい



旭電設株式会社 橋本社長コメント

「折角、ご縁があって入社してくれた社員には、ストレスなくモチベーションを維持して働き続けてほしい」そんな思いから、若手目線に立った退職防止策の検討と実践を繰り返しています。

中小企業には、良いと判断することは、経営者がスピード感を持ってすぐに決断できる強みがあります。

弊社の取組みが、少しでも中小会員企業様のヒントになりましたら幸いです。

退職防止策の事例について

旭電設株式会社

退職防止あの手この手(3)

中小部会では、2024年9月の会合において、朝陽電気(株) 北詰社長から、自社の退職防止策に関する事例紹介を行い、参加企業(社長)から大きな反響がありました。

そこで、大阪電業協会の全ての中小会員企業様にもご覧いただきたいと考え、同社取組みの一端をご紹介します。



朝陽電気株式会社
北詰社長

朝陽電気(株)の退職防止策(抜粋)

社員紹介報奨金制度

きっかけ

- 制度導入により、社員のエンゲージメントを向上させたい
- 人材紹介会社経由では、年収の約4割の成功報酬が必要

行動

- 社員紹介報奨金制度の制定

成果

- 採用実績 3名(新卒 2、キャリア 1)

奨学金返済支援制度

きっかけ

- 新入社員の半数が奨学金の支給を受けており、入社後の返済負担を減らしてあげたい

行動

- 新卒新入社員のうち、在学中に奨学金の支給を受けていた者に対して、入社から5年間、返済支援金を支給
- 奨学金返済中に、会社が指定する資格のうち2つを取得すれば、最大10年間支援

成果

- 奨学金返済支援制度の利用者5名

新入社員、2年目社員 合同宿泊研修

きっかけ

- 将来の姿が見えずに、1年目で離職する社員が多くいた

行動

- 新入社員、2年目社員を対象とした合同宿泊研修の開始

成果

- 2年目社員の成果発表を聞き、1年後の自分の姿が想像できるようになり、離職者の減少につながった



社内報の創刊

きっかけ

- 内勤と外勤の区別なく、社内の情報を共有し、コミュニケーションを活性化させるツールを構築したい

行動

- 社内報「digital CHOYO」の創刊(毎月発刊)

成果

- 社員インタビューで、仕事内容や趣味を掲載することにより、普段顔を合わさない社員にも関心を持つようになった
- 座談会で、仕事の苦勞を分かち合うことが、モチベーションアップにつながっている



医療相談窓口設置

きっかけ

- 投薬治療を行う心療内科に通院して、退職してしまった社員がいた

行動

- 薬に頼らない治療とリハビリを専門に行う心療内科と契約
「本人・家族・会社・ドクターが連携して職場復帰を目指す」「各自がメールでクリニックに悩みを相談」

成果

- 契約した心療内科でのリハビリから職場復帰した社員は再発ゼロ

入社前アルバイト研修

きっかけ

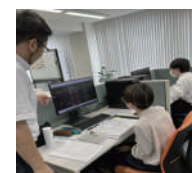
- 内定辞退者が後を絶たない
- 文系採用が増える中、入社までにCAD操作に触れる機会を与えたい

行動

- 内定承諾から入社までの期間に、アルバイト研修を実施

成果

- アルバイト研修を行った学生のうち、内定辞退はゼロ
- CAD操作を入社前に学んでもらうことにより、現場での立ち上がりが早くなった



勤怠管理システム

きっかけ

- 2024年4月からの時間外労働上限規制への対応
- 前もって休日予定が分からないことが、離職の理由になっていた

行動

- 勤怠管理システムの導入
- グループ長が、グループ全体の残業時間を把握し、休日・残業の管理を行う

成果

- 残業時間が多い者(本人、上長)へのアラーム機能により、残業時間の減少につながった
- 事前に休日予定を入力・管理することで、グループ内で共有できるようになり、ワークライフバランスの向上につながった

朝陽電気(株) 北詰社長コメント

中小部会に参加させていただくようになり、各社様の先進的な取組みに触発されて、若手目線に立った退職防止策の検討と実践を繰り返しています。これらの取組みを進めるにあたり、人事担当者(女性)が、若手社員とのコミュニケーションを密に取ってくれており、大変助かっています。当社の取組みが、少しでも中小会員企業様のヒントになりましたら幸いです。

退職防止あの手この手(4)

中小部会では、参加企業の「若年退職者防止策」を水平展開する取組を継続しており、2025年9月の会合では、マルヤ電気㈱ 丸谷社長から、退職防止取組事例の報告がありました。

その内容は、本会全ての中小会員企業様に参考にしていただけるものであると考え、同社取組みの一端をご紹介します。



マルヤ電気株式会社
丸谷社長

マルヤ電気㈱ 丸谷社長コメント

2020年以降、新入社員の入社が継続しており、社員構成が大きく変わりつつあります。

数年前、人間関係のトラブルによる退職者が発生したこともあり、特に、社員間のコミュニケーションを向

上させる対策に注力してきました。

特段目立ったことはしていないと自覚していますが、当社の取組みが少しでも中小会員企業様のヒントになりましたら幸いです。

マルヤ電気㈱の退職防止策(抜粋)

1 コミュニケーションに関する対策

● 日常的な声掛け

社長もしくは専務が、出勤・退勤時に社員一人ひとりに声掛け(直行直帰は原則不可)

● 新入社員教育の充実

ベテラン電工職社員による入社後6カ月間のOJT教育を実施

● 電工教室の開催



主に、4～6月の現場閑散期に、社内先輩電工職社員による技能伝承教育を実施

● Teams導入による連絡の効率化

2020年から導入したTeamsが定着し、現場での相談・共有円滑化に貢献

● 定期的な社内食事会の開催

- ・若手社員の親睦会
- ・勤続年数節目の特別会食



2 勤務に関する対策

● 年間カレンダーの作成

毎年4月、年間休日記載された会社カレンダーを全社員に配付(2025年度年間休日 125日)

● 新入社員への勤務配慮

入社後6カ月間、時間外労働・休日出勤は原則なし

● 休日出勤の公平な割当

現場手配担当者の調整により、休日出勤の片寄りを極力排除

● 勤怠管理システムの導入

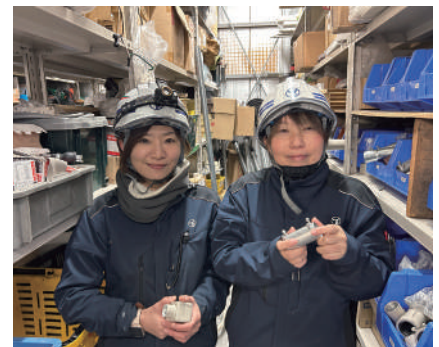
2024年4月から、勤怠管理システム(King of Time)を導入(スマホによる出勤打刻、振休・有休申請)



3 その他

● 健康経営への取組み

社員の声を反映したスマホアプリによる健康管理への取組み
「健康経営優良法人2025(中小規模法人部門)」に認定



新たな知識を習得し今後の業務に生かしましょう!

電設業界では人材不足が慢性化しており、特に中小企業においては、限られた人材で業務をいかに効率よく進めるかが課題です。

そこで中小部会では、業務効率化の一環として、未経験者を中心に受講できる「積算業務基礎講習」を、昨年度に引き続き開催しました。

この講習により、日頃の業務を超えた知識を習得し、多能工的な社員を育成することにより、業務効率化を押し進めることができると考えたからです。

これまで開催した講習のアンケートにあった要望等を組み入れ、講習時間やカリキュラムをさらにブラッシュアップしました。また、使用テキストも更新し、より分かりやすい講習になるよう心掛けました。

講習1日目は、まず電気工事現場での施工動画（大阪電業協会制作）を視聴することで、電気設備工事の概要を理解してもらいました。

その後「積算とは」から講義を開始し「積算と見積」「積算業務の流れ」「拾い出し」へと続き、一つひとつ基礎的な事項から丁寧に説明しました。

初めての文言や聞きなれない用語についても、テキストにはカラーで図示説明されており、理解を深めていただきました。

2日目は、1日目の復習から始め、その後、実際の拾い出し演習を前回より時間をかけて行いました。

3名ずつの少人数グループに分かれ、各グループに1名の指導員を配置しました。三角スケールの使い方など、日

■日 時	1日目 2024年11月11日 (月) 9:30~17:00 2日目 2024年11月18日 (月) 9:30~17:00
■場 所	大阪電業協会 会議室
■参加者	7社 12名
■講 師	中小部会 副部会長 丸谷 良美(マルヤ電気株)、 盛永 正直(株盛永電気工業所) 【拾い出し指導】 中山 武圭(大阪電気機工株)、 吉川 雅也(共栄電業株)、鬼頭 孝幸(旭電設株)

頃なかなか質問できないようなことから始め、マンションの図面を使用し、拾い出しの実践を行ってもらいました。

問題演習時は各グループに指導員がいることで、受講者は疑問点をその場で質問できていました。

次回以降に生かすため、講習終了後に受講者アンケートを実施したところ、概ね満足であったとの回答でした。

「基礎から学べたので大変ためになった」「すぐに分からないことが質問できたのでよかった」「また他の講習があれば参加したい」など、多くの前向きな感想、意見を頂戴しました。

当講習の受講により、積算業務に少しでも興味をもっていただき、より理解を深めることで今後の自身の成長へつなげていき、会社への貢献度を増していただけると幸いです。

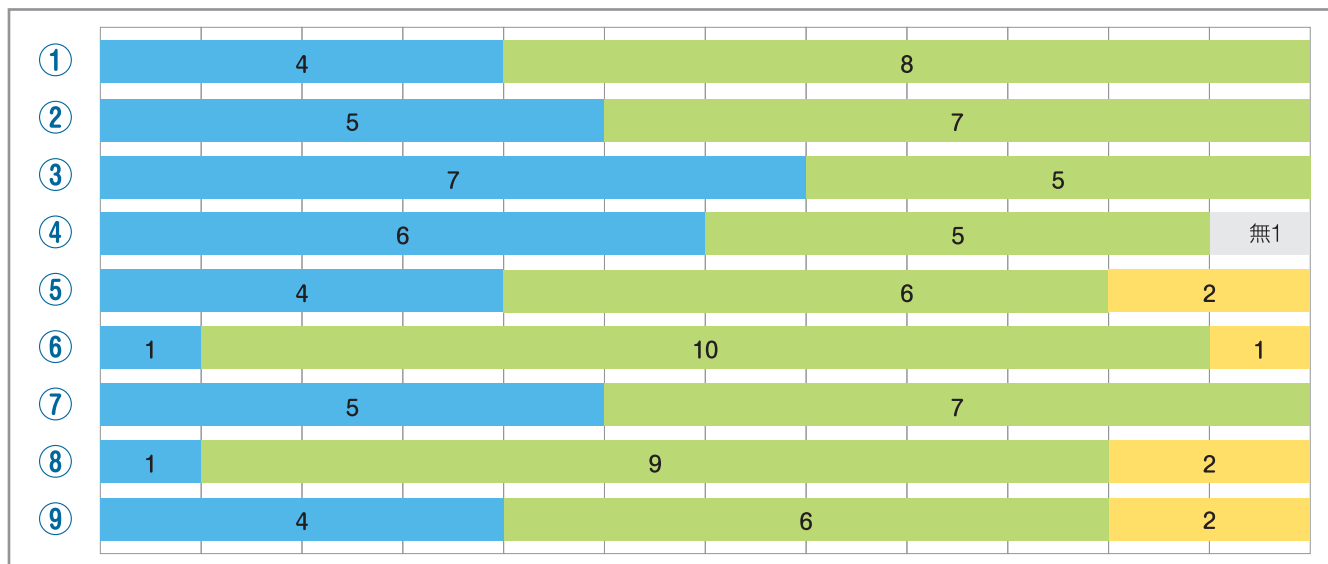
受講者の皆さま、講師・指導員の皆さま、2日間大変お疲れさまでした。ありがとうございました。（堀田 記）

積算業務基礎講習アンケート集計

■実施日:2024年11月11日(月)、11月18日(月)

- 講習内容は期待していたものでしたか。
- 積算業務の基礎の内容は理解できましたか。
- 拾い出し基礎説明の内容は理解できましたか。
- 拾い出し演習(導入編)の内容は理解できましたか。
- 拾い出し演習(実践編)の内容は理解できましたか。
- 講習時間(長さ)はどうでしたか。
- 講習会場(立地、環境)はどうでしたか。
- テキストの分かり易さについてどのように評価されますか。
- 今回の講習はご自身に生かせられそうですか。

■ はい/大満足 ■ 満足 ■ やや不満 ■ 不満/いいえ



2名の方に受講の感想をお聞きしました



旭電設株式会社

熊野 寿美さん

《職 種》 施工管理事務
《経験年数》 8 カ月

私がこの講習に参加しようと思ったきっかけは、現場に必要なものや経費の計算方法、

用語の意味などを知りたかったからです。

講習では、初めて聞く言葉も多かったのですが、初心者に合わせていただき、説明の途中で工事の写真や動画を見せてくださったので、とても分かりやすかったです。

1日目は、積算業務の基礎や流れでしたが、ここでも「拾い出し」など初めての言葉でしたが、やり方や流れを分かりやすく説明していただきました。

2日目は、班ごとに分かれて、実際に図面から材料の拾い出しや回路の拾い出しを教えていただきました。

「図面を立体的に見て拾い出す」というのがイメージできなくて、時間がかかってしまいましたが、少人数の班に分かれていたので質問もしやすく、講師の先生や同じ班の方に分かりやすく教えていただけました。

今回の受講を通して、自分が見えていなかった業務や用語が少しだけ分かるようになりました。

まだまだ勉強することがたくさんありますが、ここで学んだことを生かして、今後の業務に少しでも役に立てていけたらと思います。



マルヤ電気株式会社

西村 里美さん

《職 種》 現場施工(電気職)
《経験年数》 2年4 カ月



この講習を受講したきっかけは、今後、自分が現場施工をするうえで、必ず役に立つと思ったからです。

私は、電気設備工事業界に48歳で入って2年になりますが、今では自分で現場を担当し、責任とやりがいのある仕事についています。

積算の知識は全くなく、初めてのことで不安でしたが、講習は初心者向けの基本的な内容だったので、安心して受講できました。

2日目の講習では「三角スケール」という聞いたことも触ったこともないものを使い、図面を読み解き、工事で使う材料や労務費などを拾い出していくことを学びました。

また、拾い出しミスがあると大きな損失につながることも知り、カラーペンなどを用いて慎重にひとつずつリストに記入していくことを教わり、自分のペースでやることができました。

2日間の講習はとても短く感じましたが、どの仕事にも責任とやりがいがあり、奥の深いことを痛感しました。あとは、実際の現場でどれだけ数をこなしていくかだけです。

お客さまからお預かりした設計図書等の資料だけで、いろいろなことを読み解くことができることを知り、すごく勉強になりました。

最後に、教えてくださった先生方、本当に貴重な経験をさせていただき、ありがとうございました。



受講風景



拾い出し指導

外国人材とのコミュニケーション術を学ぶ

中小部会では、事業の三本柱のひとつである「新たな成長への関係創り」に関する取組みとして、第6回目となる部課長クラス社員を対象とした研修を開催しました。

今回は、建設現場で増えつつある「外国人材」に焦点を当て、コミュニケーションとマネジメントのポイントを学ぶ研修としました。

はじめに、進行役の竹内運営委員（双葉電気㈱）から、研修の主旨・目的の説明があり、その中からひとつでも「気付き」を見つけ、自社に持ち帰ってほしい旨の話がありました。その後、辻本副会長（辻本総合設備㈱）の挨拶があり、講師の千葉先生をご紹介します、研修がスタートしました。

千葉先生は、数千人を超える外国人材への指導経験をお持ちであり、以下の4点についてご説明を受け、グループワークを行いました。

日 時	2025年8月22日（金） 15:00～17:00
場 所	大阪電業協会 会議室
参加者	13社 32名
講 師	一般社団法人キャリアマネジメント研究所 代表理事 千葉 祐大 様
テーマ	外国人材とのコミュニケーションとマネジメントのポイント ～ダイバーシティ時代の異文化マネジメント～



進行役の竹内運営委員



辻本副会長 開会挨拶



講師の千葉 祐大さん

POINT

1. 大阪で働く外国人の現状と今後の見込み

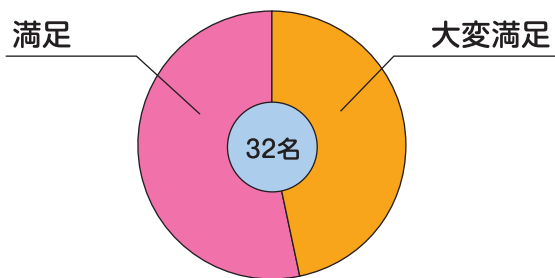
2. 外国人雇用にに関する基礎知識

3. 望ましい受け入れ態勢づくり

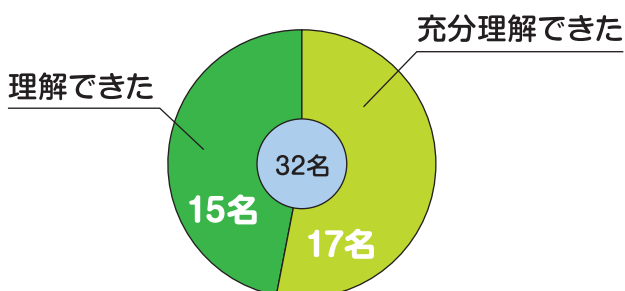
4. 指導するときの伝え方のポイント

●参加者アンケートから

1 全体の印象はいかがでしたか？



2 研修の内容は理解できましたか？

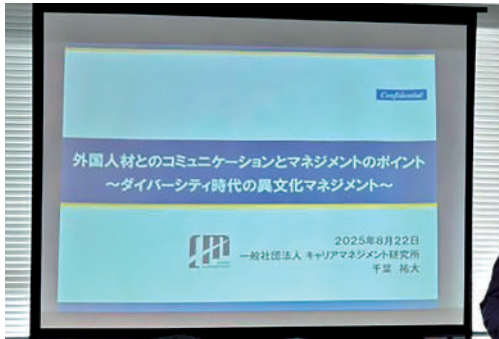


3 研修を受ける前「外国人材とのコミュニケーション」に対する悩みや不安はありましたか。それは解決できそうですか？

- ①外国人の採用に関しては、研修を受けた後も不安があります。言葉の違いを理解し、外国人を受け入れる態勢作りをしないと難しいと感じました。
- ②将来的には、外国人の入社もありえると思いますので、その際の参考にしようと考えました。
- ③外国人の雇用をしていないので、わからない事がたくさんありましたが、コミュニケーションが大事だと思いました。
- ④雇用に当たっての永住権の要件、コミュニケーションの取り方等を不安に感じていましたが、今回の研修で凄く理解できました。
- ⑤電気工事をするにしても、資格等で仕事に制限がある事が知れてよかったと思いました。
- ⑥コミュニケーションや日本語の理解力による現場での安全に不安があります。

4 研修を受けて活用しようと思う項目は何ですか？

- ①国によって考え方や宗教が異なるので、個々に話を聞く必要があると感じました。
- ②外国人にも分かるマニュアル作り、相手への言葉の伝え方
- ③外国人に関わらずあいまいな表現は避け、ストレートかつ簡潔に伝えるように心掛けます。



グループディスカッション

5 全体への感想や、今後学びたいことなど

- ①異文化の常識や考え方について学びたい。
- ②外国人を雇用するには、たくさんの準備と知識が必要だと思いました。
- ③資料も説明も大変わかりやすく、グループワークがあったことで、常に新鮮味を感じながら受講できました。



アドバイスを送る
笹野運営委員



研修会会場

懇親会



懇親会参加者集合写真



懇親会会場

この研修で初めて会った方が多い中、グループワークを通じて打ち解け合い、懇親会はかなりの盛り上がりを見せました。

研修だけでなく、懇親会の場でも、何かの気づきを得ようとする姿勢の方が多く感じられました。多くの方から「定期開催」を望む声をいただきつつ、懇親会を終了しました。

特集

開催テーマ「和」

ええとこ大阪へ、いらっしゃい

2023年10月12日(木)、帝国ホテル大阪に約500名の会員をお迎えし、日本電設工業協会会員大会を開催しました。9年に一度の当番会となった関西支部では、開催テーマとして「和」を掲げ、おもてなしの精神を最大限発揮することを申し合わせ、万全の準備にあたりました。

「和」には、人の集まりや人と人との繋がりという意味があり、志を共有する仲間同士の「和」があって初めて、発展する業界団体になるものと考え、調和の「和」を感じていただける大会となるよう企画しました。



会員大会会場全景

会員大会

日 時: 2023年10月12日(木) 14:15~16:15
場 所: 帝国ホテル大阪 3階「エンパイアルーム」
会長挨拶: 会 長 山口 博
来賓挨拶: 大阪府副知事 森岡 武一 様
: 国土交通省 近畿地方整備局長 見坂 茂範 様
司 会: 田畑 智佳子



山口会長 開会挨拶

基調報告

1. 「生産性向上で働き方改革の推進!」

牧野 俊亮 技術・安全委員会 生産性向上新技術検討WG主査
(㈱関電工 特任理事戦略技術開発本部)

2. 「入職促進活動と業界の課題について」

岩本 浩一 (一社)大阪電業協会 労務・安全委員会 人材部会長
(㈱キンコー 代表取締役社長)



森岡大阪府副知事 ご祝辞

3. 「中小部会事業活動について~7年間の軌跡と夢~」

(一社)大阪電業協会 経営委員会中小部会
橋本 博司 (同部会長・旭電設㈱ 代表取締役社長)
堀田 吉範 (同部会長代行・宏電気テック㈱ 代表取締役社長)
原 智哉 (同部会副部会長・㈱昭光電業社 代表取締役社長)
中山 武圭 (同部会運営委員・大阪電気機工㈱ 取締役)
渡部 憲一 (同部会運営委員・㈱ワタベ 代表取締役社長)



見坂近畿地方整備局長 ご祝辞

大会決議採択 提案説明 運営委員長 土屋 忠巳

開催に際し、山口会長は、2024年4月からの「時間外労働の上限規制適用」への対応を最重要課題と位置づけ、会員自らの意識改革と、前例にとらわれない取り組みにチャレンジし、何としてでも乗り越えなければならないと述べ、働き方改革や魅力ある職場づくりの取り組みを加速させる必要性を強調しました。

当日は、多くの来賓にご臨席をいただき、来賓を代表して、森岡大阪府副知事、見坂近畿地方整備局長のおふたりから、ご祝辞を頂戴しました。



実行委員会



佐藤実行委員長



受付風景



基調報告では、初めに、技術・安全委員会 生産性向上新技術検討WGが取り組んでいる現場施工及び施工管理業務の「生産性向上」に効果的な資機材、ソフトウェア、工具類等についての紹介がありました。

続いて、大阪電業協会 人材部会と中小部会から、電設業界における共通課題の本質に迫る「業界への入職促進に特化」した活動と「中小企業自らが創りあげ、自己成長につなげる」「個々の中小企業だけでは解決できない悩みや課題を共有し、優先順位を明確にして改善に取り組む」活動

について説明を行いました。

自社について、自分自身について本音で語る「本物の議論」を展開してきた迫力のある報告が展開され、多くの参加者から「素晴らしい内容だった」「とても感銘を受けた」との感想をいただきました。

大会決議では「時間外労働の上限規制適用」への的確な取り組みを行うためのスローガンが提示され、満場一致で採択されました。

基調報告



2023年10月12日の
会員大会基調報告を
YouTubeにて
ご覧いただけます。
ぜひご視聴ください。



岩本人材部会長



橋本中小部会長



原中小部会副会長



堀田中小部会長代行



中山中小部会運営委員



渡部中小部会運営委員

大阪電業協会
経営委員会 中小部会 10年のあゆみ

発行日 2026年5月19日

発行 一般社団法人 大阪電業協会 経営委員会 中小部会
大阪市北区野崎町9番8号 永楽ニッセイビル5F
TEL. (06) 6363-4077 FAX. (06) 6363-4079
Eメール webmaster@osdenkyo.or.jp
ホームページ https://www.osdenkyo.or.jp/?page_id=264

印刷所 株式会社三友社
大阪市北区同心1丁目2-10 TEL. (06) 6881-1795
